

## 第 1 回 練馬区立大泉第二中学校の教育環境保全および都市計画道路の整備に関する 有識者委員会 議事概要

日 時：平成 28 年 3 月 30 日（水） 午前 10 時 30 分～午前 11 時 45 分

会 場：練馬区役所本庁舎 20 階 交流会場

出 席：

委員（50 音順）

安藤委員、大沢委員、久保田委員、神山委員、中村委員、葉養委員、宮下委員、柳澤委員

事務局

小山土木部副参事、大野計画課計画係次席（その他関係部課）

### 次第 1：開会

（事務局にて開会）

### 次第 2：副区長あいさつ

（黒田副区長あいさつ）

### 次第 3：委員紹介

（事務局から委員の紹介）

### 次第 4：委員長あいさつ

（委員長あいさつ）

### 次第 5：資料説明

（事務局から資料 1～5 について説明）

### 次第 6：討議

委員長

これまでの説明等について、委員のみなさまから、ご質問、ご意見等があればお願いします。

委員

学校敷地が道路で分断されてしまう中で、環境の良い別の場所に学校敷地を動かして、学校を整備することが理想です。しかしながら、いままでの検討結果では、学校敷地は動かせないとのことなので、現状の中でどうするかを考えなくてはならないと思います。そのため、既存の教育環境にとらわれずに、道路と共存する新しいモデルを作ることで、道路と学校がお互いにプラスになる方向を考えていきたいと思っています。

学校を新しく整備する場合、最近では 100 年持つ建築物をつくることもあるので、50 年～100 年後の将来を踏まえて、現状の問題だけではなく、将来どうなっているかも視野に入れる必要があると思います。例えば、今後の生徒数、今後の地域人口、今後の地域のニーズ等の将来を見据えた計画検討が必要であると思います。

地域との融合を考慮し、学校機能に特化するのではなく、他の公共施設との複合化や民間施設との複合化（PPP、PFI）等の新しいモデルを視野に入れた視点も必要なのではないかと思っています。資料

説明の中で、小中一貫教育がキーワードとして出ていました。まとまった敷地がないということなので、一体的な学校を作るのが困難かもしれないのですが、隣にある小学校との小中一貫も検討する必要があるのではないかと思います。

委員長

質問の中にある生徒数の今後の推移が解れば教えてもらいたい。

事務局

現状において、大泉第二中学校に限っての生徒数の推移計測は行っていませんが、参考になるデータとして、区全体の中学校生徒数（12歳から14歳）の将来見込みがあります。また、地域別の人口推計として、大泉地域の年少児（0歳から14歳）の将来見込みがあります。これらのデータを用いて、一定程度、推計作業を行うことは可能であると考えていますので、とりまとめを行い、提出したいと思います。

委員長

質問の中にある小中一貫教育について教えてもらいたいと思います。

事務局

小中一貫教育については、施設が隣り合っている小中一貫校が1校あります。また、既存の小中学校については、施設が離れていても連携校としているのが現状です。現在、今後の方針を策定中であり、施設が完全に一体となった小中一貫校についても検討を行っています。

委員

今回の説明の中心は、都市計画道路という「線」と大泉第二中学校という「点」という考え方でしたが、今後は、「線」と「点」だけではなく、「面的」にとらえて検討すべきではないかと思います。例えば、公共施設の再編や周辺の公共施設の建替え等との連携、用地の取得ではなく用地の交換という形をとれば、学校位置は変わっても、今まで以上に学校機能や質を確保しつつ持続的に発展することが可能であると思います。

道路と中学校の問題を契機として、この地域の様々なまちづくり課題を解決する方策をあわせて検討できれば良いと思います。

面的な検討区域は、大泉学園駅南側地区（約70ha）が望ましいと思います。道路と学校周辺の土地利用状況や周辺の都営団地等の建築年数等も含めて議論できれば良いと思います。

事務局

土地利用状況および大泉第二中学校の北側にある都営住宅の建築年数等の整理を行い、提出したいと思います。

また、地域の課題解決のために、地域全体の面的な検討は必要であると考えています。

委員長

面的に捉えるならば、学校選択制度を導入している経緯を踏まえると、大泉第二中学校の通学区域を見直すことの可否も含めて検討する必要があるのではないのでしょうか。

事務局

学校選択制度を導入しているので、非常に難しいことですが、土木の所管と協議しながら、通学区域についても検討していきたいと思います。

委員長

資料を見ると、周辺道路に問題があることは理解できますが、可能であれば、渋滞状況、交通事故等の各種データを用意していただき、データに基づいた議論も行いたいと思います。

事務局

交通量データは持っておりますが、交通事故等については警察等にも問い合わせ、とりまとめを行い、提出したいと思います。

委員

ハザードマップや都市計画マスタープランレベルで良いので、現在と将来のまちづくりの課題がわかる資料を用意していただきたいと思います。客観的データと問題意識データを合わせて、問題解決を議論していきたいと思います。

事務局

地域に関連するデータについて、ご相談しながら次回以降取り揃えて、提出したいと思います。

委員

今回のプロジェクトを契機として、地域の公共施設再編を考慮する必要があるのではないかと思います。地域にある公共施設の分布状況・建替時期・どのようなニーズが増えているのか減っているのか、また、小中学校については児童数増減に伴う空き教室状況のデータを提供してもらいたいと思います。地域全体のデータを見て、公共施設の再編を検討することによって新しいアイデアが生まれる可能性があるかもしれません。

事務局

公共施設の各種情報データについては、ご相談しながら、とりまとめを行い、提出したいと思います。

検討区域については、委員がお話しされた大泉学園駅南側地区(約70ha)が良いのか、または、さらに広くするのか狭くするかなど、今後、相談して決めていきたいと思います。

委員長

委員会において、大泉第二中学校内を含めた現地視察をお願いしたいと思います。

事務局

現地視察について今後、日程調整を行いたいと思います。

委員長

今回は、「都市計画道路について」、「大泉第二中学校について」、「これまでの検討経過について」情報共有を図ることが出来たことは有意義であったと思います。これからどのようなスタンスで委員会を進めていくべきか共通認識を図るべきであると思います。

大泉第二中学校の教育環境の保全と都市計画道路の両立という課題を将来に禍根を残さない形で抜本的に解決する方策を検討することが重要だと考えます。

今日委員の皆様からいただいた貴重な意見を踏まえれば答えが見つかると思っていてこの議論を進めていくということによろしいでしょうか。

(異議なし)

私自身もそのような覚悟で臨みますので委員の皆さんもどうぞよろしくをお願いします。

## 次第7：その他

事務局

討議の中で、ご要請のありました資料については、委員のみなさまからアドバイスをいただきな

がら作成していきたいと思います。

現地視察および第2回目以降の日程調整を個別に行って頂きたいと思います。

#### **次第8：閉会**

委員長

以上をもちまして、第1回有識者委員会を終了します。

以 上